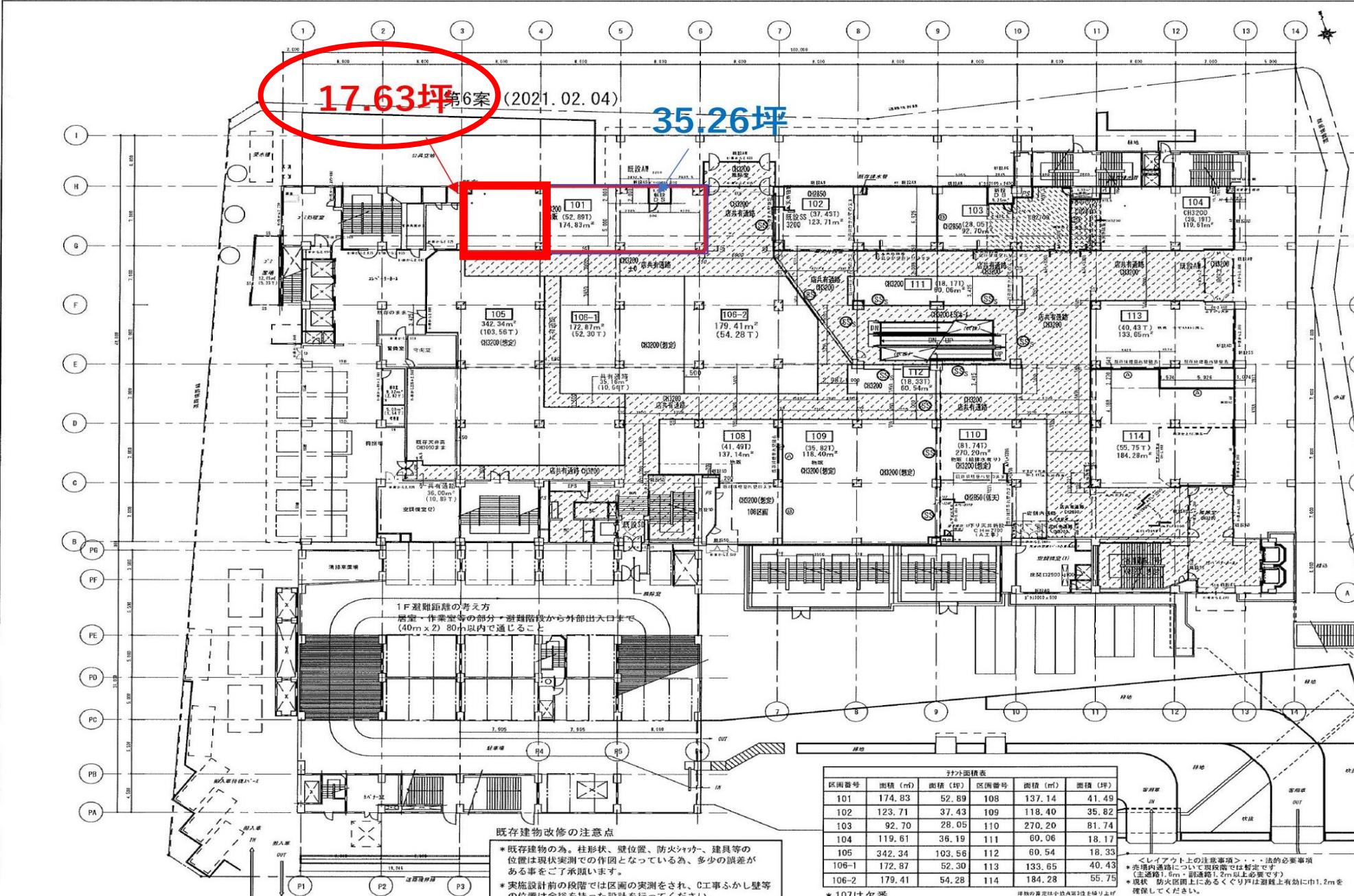


- 1案 2020.11.24
- 2案 2020.12.04
- 3案 2020.12.07
- 4案 2020.12.09
- 5案 2020.12.16
- 6案 2021.02.04



17.63坪 第6案 (2021.02.04)

35.26坪

※ 構造耐力型の基準法令設置  
基本既存のまま（位置共）とし、変更部分については  
階高及び耐震等級  
耐震等級については工事設計書を参照して決定する。  
防火区画は防火区画に併設する防煙区画は既存設備の  
ままとする。

① : 店舗間仕切り壁（天井まで）  
（A工事）  
② : 店舗間仕切り壁  
（上部H=500開口）  
（A工事）

凡例

斜線	共有通路、部分 （A工事部分）
点線	防火区画 （1111・防火戸共）
破線	防煙区画 （1111・防火戸共）
SS	防火防煙シャッター（特設防火設備）

区画番号	(1階)
区画名	
求積面積	m <sup>2</sup>
坪	
共用部天井高	F L +
店舗内天井高	F L +
電気	A工事型定設備容量 1Φ 100V 1Φ 200V 3Φ 200V
共通項目	

- 現場寸法実測の上、設計・施工をお願いします。  
施工上、両面との誤差が生じることがあります。  
ご理解願います。  
現場と図面が異なる場合には、現場優先となります。
- 防火シャッター・スイッチボックス・火報制御器  
種別作動手動装置等の防炎設備、自動温度センサー機器等  
が区画内の柱、壁面に設置されている場合は、柱・壁  
面を削り取っての施工をお願いします。
- 床の粗平（内装制限や特殊建築物等の内装、消防指導事項  
の仕様ハラス対策等）実測のお客室への取付位置  
（什物/内装物の取付）等にご配慮の上計画をお願いします
- 区画内に避難通路がある場合は床テープ等で明確にするよう  
計画してください。
- 区画内に防火シャッターがある場合は床テープ等で  
粗平ラインを明確にするよう計画するとともに階下階上  
とならない計画としてください。  
（150mm前後の可燃物の設置不可）

**既存建物改修の注意点**

- ※ 既存建物の為、柱形状、壁位置、防火シャッター、建具等の  
位置は現状実測での作図となっている為、多少の誤差が  
ある事をご了承ください。
- ※ 実施設計前の段階では区画の実測をされ、C工事ふかし壁等の  
位置は余裕を持った設計を行ってください。

※ 107は欠番

区画番号	面積 (m <sup>2</sup> )	面積 (坪)	区画番号	面積 (m <sup>2</sup> )	面積 (坪)
101	174.83	52.89	108	137.14	41.49
102	123.71	37.43	109	118.40	35.82
103	92.70	28.05	110	270.20	81.74
104	119.61	36.19	111	60.06	18.17
105	342.34	103.56	112	60.54	18.33
106-1	172.87	52.30	113	133.65	40.43
106-2	179.41	54.28	114	184.28	55.75

<レイアウト上の注意事項>... 法的必要事項  
※ 先境内通路については現段階では暫定です  
（主通路1.5m、副通路1.2m以上必要です）  
※ 現状 防火区画にあるくくり戸は避難上有効に1.2mを  
確保してください。

※ 既存建物復元データでの作図の為、  
必ず現場確認の上最終調整を  
お願い致します